

(18) 機械工学教育における学士力実現のための授業モデルの検討

機械工学教育FD/ICT活用研究委員会は、6月、9月、11月の3回開催した。

身の回りの機械やシステムを解析・設計・提案できるようにするため、振り返り学習、学びの動機づけ、物作りによる総合的な知識の活用ができる授業デザインとして3例をとりあげることにした。

一つは、基礎学力を身に付けるため、教室での授業に加えて、教室外で学びができるプラットフォームを構築して、卒業までに他の専門科目の中で振り返り学習ができるような授業モデルとした。

二つは、力学現象の解析を数値化して、機械設計に応用する学びを身に付けさせるため、社会現場から学びの動機づけの示唆を受けるとともに、簡単な構造解析を行い、その結果について学外の専門家から評価を受ける授業モデルとした。

三つは、社会に役立つ物作りの能力を身に付けさせるため、企業で行うプロジェクトマネジメントの手法を取り入れ、産学連携・地域連携を取り入れた授業モデルとした。